

Sustainability Report



株式会社千葉ステーションビル

PERIE Sustainability Report 2025

ペリエのサステナビリティが育む、心豊かな暮らしとまちづくり

当社は、千葉エリアの駅ビル「PERIE(ペリエ)」を中心とした商業施設の開発・運営を主軸に、京葉線の海浜幕張駅、検見川浜駅、稲毛海岸駅、幕張豊砂駅を「ペリエステーション」として商業施設と一体運営することで、駅を中心とした魅力あるまちづくり、沿線地域の皆さまの心豊かなくらしづくりに向けて取り組んでいます。

私たちは、地域の魅力を発信し、企業理念として掲げる「駅を中心とした交流の場の創出」を推進するとともに、安全かつ安心してご利用いただける快適なサービスの提供を行い、地域の皆さまに信頼される企業を目指します。

当社創業の地であるペリエ千葉においては、60年以上にわたり、地域の皆さまにご愛顧をいただいておりますが、大きく変わりゆく社会構造を見据えて持続的な企業経営を行っていくために、これまで以上に地域社会が抱える課題解決に向けた施策を様々な方と連携して進め、新たな価値を創出していきます。

本レポートは、主に昨年度実施した当社のESG(環境・社会・企業統治)施策について取りまとめています。ステークホルダーの皆さまにおかれましては、当社の社会課題解決に向けた取り組みや、お客さま、地域の皆さまの心豊かなくらしづくりに貢献する取り組みについてご理解をいただけると幸いです。

2025年7月
代表取締役社長
杉村 晶生

会社概要

株式会社千葉ステーションビルは、JR東日本グループ会社としての自覚と誇りをもって、健全経営のもと、お客さまに良質なサービスを提供し、地域社会に信頼される会社を目指しています。

会社名： 株式会社 千葉ステーションビル

代表者： 代表取締役社長 杉村 晶生

所在地： 千葉県千葉市中央区新千葉一丁目7番2号ペリエ+plusビル

会社設立： 1961年 8月1日

営業開始： 1963年 4月28日

事業内容： ・商業施設の運営及び管理 ・不動産賃貸業
・駅業務の受託 ・インターネット等による通信販売業

資本金： 2億円

売上高： 557億27百万円(2024年度テナント売上高)

施設名： 【店舗】

■ペリエ千葉■ペリエ稲毛■ペリエ西千葉■ペリエ津田沼■ペリエ西船橋■ペリエ海浜幕張
■ペリエ稲毛海岸■ペリエ検見川浜■四街道駅ビル■アルカード茂原■千葉みなと

【受託駅】

■海浜幕張駅■幕張豊砂駅■検見川浜駅■稲毛海岸駅

【公式オンラインストア】

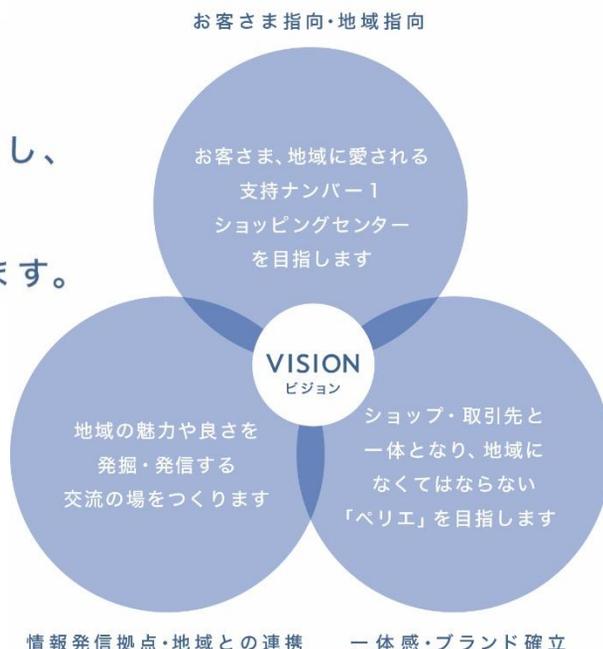
■[PERIE Online JRE MALL店](#)

【不動産】

■ペリエ+plusビル■CSB新千葉ビル■ペリエレジデンス新千葉
■ペリエレジデンス作草部A棟・B棟■ペリエメディカルビル美浜

企業理念

私たちは、駅を中心とした交流の場を創出し、
お客さま満足を追求するとともに、
地域の皆さまに信頼される企業を目指します。



事業紹介

Our Business

千葉県は、海や里山などの豊かな自然環境に恵まれ、多彩で全国有数規模の農水産業、工業、観光業など、バランスのとれた産業構造を持つ、大きな魅力を秘めた土地柄です。千葉の魅力を幅広くお伝えし、県全体の活性化を目指すとともに、多種多様な環境変化と、地域の皆さまのご期待にお応えし、魅力あるサービスをご提供すること、ペリエを中心とした魅力あるまちづくりの実現に努めています。

ショッピングセンター事業

「毎日をもっと楽しく」

駅ビル・エキナカ商業施設「PERIE」(ペリエ)をはじめ、千葉県内で11館の施設を管理・運営しています。「毎日をもっと楽しく」をテーマに、お客さま、地域に愛される商業施設を目指しています。

PERIE PERIE HALL **四街道駅ビル** Arcade Mobara
ペリエホール



駅業務の受託



駅・SCが一体となったサービス推進

JR東日本より、京葉線の「幕張豊砂駅」「海浜幕張駅」「検見川浜駅」「稲毛海岸駅」4駅の駅業務を受託。安全・安心の追求はもとより、街・商業施設と一体となった沿線エリアの価値向上を目指しています。



開発、不動産賃貸・管理

魅力あるまちづくり・くらしづくり

定期的な既存施設のリニューアルと共に、京葉線・総武線沿線に開発のフィールドを広げ、地域に根差した総合的な事業を通して、沿線の価値を高める魅力あるまちづくりを推進し、地域で生活される皆様の心豊かなくらしづくりに貢献します。



EC事業・地域共創



地域の魅力を発掘・発信

地域の魅力を発信するEC事業、エリアの賑わいを創出する催事・イベントを展開しています。JR東日本のグループ力を活かした連携や、ペリエが行う企画開発、タイアッププロモーション等、多彩な顧客体験と、オリジナリティのあるサービスが特徴です。

Sustainability THEME

基本方針

私たちは、「安全・安心」を経営のトッププライオリティに掲げ、お客さま、地域、お取引先、皆さまからの「信頼」を高めるとともに、すべての人の生活における「豊かさ」の実現を目指します。そのうえで、当社の企業理念に基づいたESG(Environment/Social/Governance)経営を実践し、持続的な事業活動を通じて、地域における社会的な課題の解決に貢献します。



安全・安心

商業施設の開発・運営に加え、駅業務を受託する当社では、社員一人ひとりが、日頃からお客さまに安全で安心してご利用いただける館・駅づくりに取り組んでいます。



環境

エネルギー消費や温室効果ガス排出量が少ない施設運営や、脱炭素社会の実現に貢献していくことは、暮らしを支える会社としての社会的使命であると考えています。当社では、エネルギー管理体制を構築して、環境問題にも積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に努めています。



社会・地域

千葉に根差す企業として、地域の皆さまと一体となって、社会課題に積極的に関わりながら、千産千消や、地域文化・スポーツ活動と連携したイベント開催、産学連携を通じた人財育成、キャリア支援など、事業活動を通じて千葉でのより豊かな暮らしづくりに向けた取り組みを推進しています。



企業統治

コンプライアンス・ガバナンスの強化と継続的な見直し、これに基づく業務改善などにおいて、内部統制を強化しています。また、多様な人財が活躍できる環境の整備を進め、育児・介護と仕事の両立や在宅勤務制度の導入など、多様な働き方の支援を推進しています。

ペリエで出逢う、持続を可能にする想い

日々の暮らしの中に、わたしたちが生きることで
カタチづくられている、環境のこと、未来のこと。

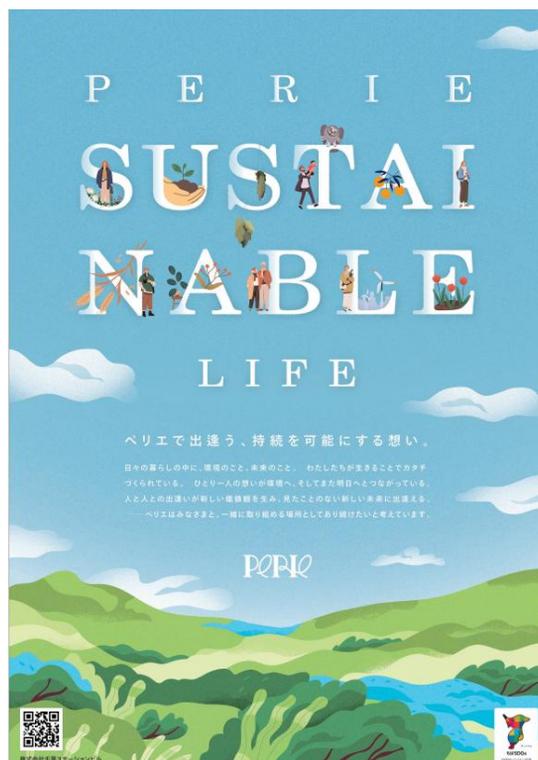
一人ひとりの想いが環境へ、そしてまた明日へとつながっている。

人と人との出逢いが新しい価値観を生み、見たことのない

新しい未来に出逢える。

ペリエはみなさまと、一緒に取り組める場所として

あり続けたいと考えています。



安全・安心

Safety & Security

JR東日本グループは「安全」を経営のトッププライオリティと位置づけ、「究極の安全」を追求し、グループ一丸となって安全レベルを高めるための取組みを推進してきました。現在は「グループ安全計画2028」を基軸に、商業施設の開発・運営に加え、駅業務を受託する当社では、社員一人ひとりが、日頃からお客さまに安全で安心してご利用いただける館・駅づくりに取り組んでいます。

■安全・安定輸送のレベルアップ



定期的な訓練・意識醸成

JR東日本より駅業務を受託し、運営を行う当社においては、輸送の安全・安定を確保するために、JR東日本千葉支社の訓練施設等を活用して、様々な訓練に取り組み社員のスキルアップを図っています。また、サービス品質向上のため、JR東日本と連携した営業事故防止会議の実施や定期的な勉強会等、知識の習得に努めています。こうした日々の積み重ねにより、お客さまが安心してご利用いただける空間をつくり、多客時などにも事故なく営業を完遂するために取り組んでいます。

■地域に頼られる安全安心の商業施設に

防災訓練の定期実施

駅直結の商業施設として、災害発生時にはペリエとJR東日本(駅)が連携し、お客さまと地域の安全を守る重要な役割を担っています。そのため、各商業施設では通報・救助・避難誘導・初期消火など、様々な事象を想定した合同防災訓練を定期的に行い、万一の際にも迅速かつ的確に対応できる体制を整えています。



そして、商業施設には災害時にお客さまの生活を支える社会的責任があり、当社では施設と従業員の安全確保を最優先にしつつ、速やかな営業再開と生活必需品の提供を可能にするため、事業継続計画(BCP)に基づいた社内訓練を継続的に行っています。今後も、すべてのステークホルダーの皆さまに安心してご利用いただける施設運営を目指し、地域社会の一員としての責任を果たしながら、安全・安心の強化に一層努めてまいります。

ゼロカーボン・チャレンジ2050

JR東日本グループは「ゼロカーボン・チャレンジ2050」を掲げ、長期目標である2050年度CO₂排出量実質ゼロに向けて取組みを推進しています。当社はJRグループの一員として、エネルギー・マネジメント体制を構築し、省エネの促進、廃棄物の削減、資源循環など環境問題にも積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に努めています。

【当社の環境長期目標】「施設の快適性」と「エネルギーの最適化」の両立を目指して、下記項目に関する施策を遂行・管理しています。

【エネルギー(原油換算)原単位】
5年度間平均1%削減

【廃棄物の削減】
2019年度比10%削減
(2030までに)

【リサイクル率の向上】
2019年度比10%向上
(2030までに)

【2030年度のCO₂排出量】
2019年度比50%削減

環境データ[商業施設関連]

資源・廃棄物の種類		単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
エネルギー使用量(原油換算)		Kl	5,098	4,852	4,646	4,553	4,290	4,215
エネルギー単位			0.04152	0.03952	0.03873	0.03732	0.03517	0.03419
対2019年度比		%		95.2%	93.3%	89.9%	84.7%	82.3%
一般廃棄物	リサイクル率	%	65	61	64	63	62	61
産業廃棄物	リサイクル率	%	52	47	72	91	91	89
水資源		m ³	106,775	101,039	95,599	97,941	107,060	112,890
紙資源		kg	6,703	4,387	4,875	4,084	4,017	3,770

2024年度の主な実績について、以下の通りご報告申し上げます

① エネルギー使用量の推移と対策

2024年度の電力使用量は、前年の1,484万kWhから1,554万kWhへと増加いたしました。原油換算係数の見直しにより、最終的なエネルギー使用量は**前年比1.7%の削減**となりました。また、エネルギー原単位(使用効率)は**前年比4.74%の改善**を達成し、中期的な目標である「年平均1%の削減(5年間で10%削減)」を大きく上回る成果となっております。電力使用量の増加要因としては、全体的な売上増加に加え、冬季の気温低下や新規施設(幕張豊砂・千葉みなど)の開業が挙げられます。

省エネルギーの取り組みとしては、以下のような高効率機器への更新および空調運転の最適化を実施いたしました。

- ・非常用照明のLED化:計154台(海浜幕張88台、四街道66台)
- ・一般照明のLED化:計16台(高架下駐車場:緑町第1・2・3・5・8、弥生第3駐車場)

② 廃棄物の排出状況とリサイクル

ペリエ千葉においては、リサイクル率の低い混合廃棄物の排出量が**約5トン増加**し、全体のリサイクル率がやや低下いたしました。

【一般廃棄物】:リサイクル不可の可燃物が**約50トン増加**し、リサイクル率は**前年比で1%減少**

【産業廃棄物】:リサイクル可能な污泥が**約120トン**、油粕が**約11トン減少**した一方で、プラスチック廃棄物は**約2.5トン増加**いたしました

③ 水資源の使用状況

水資源の使用量については、ペリエ千葉での使用量が**約2,000m³増加**したほか、新規施設である幕張豊砂および千葉みなどにおいても合計**約1,200m³の増加**が見られました。

④ 紙資源の使用削減

紙資源については、テレワークの定着ならびにコピー機の仕様見直しが奏功し、紙の使用量は引き続き**減少傾向**にあります。また、使用するコピー用紙における再生紙の使用率は**99%を維持**しており、環境負荷の低減に貢献しております。

今後も、環境に配慮した事業運営を継続し、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

循環型社会への取組み

■ サーキュラーエコノミーの推進

食品廃棄物を活用した電力リサイクルループを導入

2025年4月より、商業施設「ペリエ海浜幕張」において、食品廃棄物を活用した電力リサイクルループの導入を開始いたしました。本取り組みは、当社施設から排出される食品廃棄物をJR東日本グループ各社と連携して分別・収集・運搬・バイオガス化し、再生可能エネルギーとして再利用するものです。これにより、年間約639トンのCO₂排出削減が見込まれ、地域におけるサーキュラーエコノミーの推進と脱炭素社会の実現に貢献します。環境に配慮した施設運営を通じて、地域とともに持続可能な未来づくりを進めてまいります。



ペリエ海浜幕張外観

取組概要

- (1) 供給開始日：2025年4月1日
- (2) 排出施設：ペリエ西船橋
- (3) 供給先：ペリエ海浜幕張(既存エリア部分)
- (4) 導入効果：約639t-CO₂/年
(スギの木、約7万本分の年間CO₂吸収量)のCO₂排出量を削減



■ PASSTO(廃棄量の削減)

ペリエ稲毛へ拡大・複数個所で期間限定設置

スタートアップ企業と連携し、循環型社会に向けたリユース・リサイクル事業を展開する「株式会社ECOMMIT」が提供する衣類回収サービス「PASSTO」を、2023年10月よりペリエ千葉へ導入しました。2024年度は、ペリエ稲毛に拡大をしたほか、海浜幕張駅およびペリエココで期間限定で設置をし、お客さまへの認知拡大を図りました。



■ 災害用備蓄品の寄付(廃棄量削減・地域貢献)



「フードバンクちば」との連携

当社は災害用備蓄品の更新時に、千葉県内でフードドライブ活動を行っている『フードバンクちば』へ食品を寄贈しており、2024年度で3年目を迎えました。備蓄品だけでなく、ショップからの買取商品なども積極的に寄贈をしており、食品ロスを減らし、消費可能な食品を有効活用することで、環境への負荷を軽減する取組みを地域と共に継続していきます。

地域との持続的な取組み

■ 駅を中心とした地域活性の発信



千葉駅東口駅前広場整備

千葉市とJR東日本の協力により、千葉駅東口駅前広場の使用許可を取得し、地域製品の催事や産学連携イベントを行う場所として活用しています。千葉県内の道の駅の出張販売や農産物の千産千消の発信、産学連携施策として千葉経済大学附属高等学校の生徒が模擬株式会社を設立し、地元企業とコラボした商品販売実習を行いました。駅とまちをつなぐ地域活性や将来世代の支援等の表現の場として、当広場を活用してまいります。

■ 将来世代応援、地域事業者連携

パティシエのたまご

2025年2月、千葉駅改札外コンコースにて、第8回「パティシエのたまご」を開催しました。本イベントでは、千葉市内の調理専門学校の学生たちが卒業制作として、県内の生産者と協力し、生産者の想いを込めたオリジナルケーキを創作・販売しました。用意した2,000個はすぐに完売し、多くのお客さまから温かい応援のメッセージをいただく学生たちの姿から、地域との強いつながりを実感することができました。未来を担う学生の応援と地域との連携を目的に、本取り組みを継続してまいります。



■ サステナビリティ発信



ちばえきつながるプロジェクト

2024年8月、JR千葉駅とペリエ千葉、千葉大学の学生団体が連携し、「きっぷの芯で学ぶ! サステナブルワークショップ」を開催しました。本イベントでは、千葉駅で排出されるきっぷの芯を活用し、子どもたちが夏の夜空をテーマに花火アートを制作する体験を通じて、資源の再利用や環境への関心を高める機会を提供しました。また、廃コスメを使ったペイントアートや、環境問題をテーマにした体験ゲームも開催し、楽しみながらSDGsについて学べる場となりました。地域の未来を担う子どもや地域のみなさまに向けて、サステナビリティを身近に感じてもらうことを目的とし、地域・企業・学生が一体となって持続可能な社会づくりに取り組む姿勢を発信することができました。

地域との多様な接点づくり

交流の場の創出(広場活用の推進)

とよすなうみかぜ広場

2024年3月に開業した幕張豊砂駅の『とよすなうみかぜ広場』は、JR東日本の『BeyondStations構想』に基づき、駅とまちが一体となって、お客さまや沿線の皆さまとつながることで、心豊かな暮らしを実現する場です。今年度はトレインシミュレーター体験や鉄道に関するイベント、『TOYOSUNA Winter Fes2024』、とよすなバースデイイベントなど、様々な施策を通じて地域の皆さまに愛される交流の場としてご提供しました。また、Walkable TOYOSUNA実行委員会の一員として、駅からまちへつながる拠点づくりに取り組んでいます。

ペリヨコ（千葉駅南口前広場）

JR千葉駅の南口駅前用地において地域交流拠点、ペリエ千葉「ペリヨコ」を2024年8月に開業しました。地域交流の拠点を新たに生み出すべく、オープンスペースを構えた気軽に立ち寄りたくなる飲食店舗と、イベント用地としても活用できる駐車場を展開し、さらなる駅前エリア全体の賑わい創出による活性化と街の回遊性を高めていきます。



高付加価値商品との出会い

朝採れ、
新幹線でお届けします。

JR海浜幕張駅改札前
2024
9/20・26・27
16:00～18:00 数量限定
長野県の高級ぶどうを販売いたします
ぜひ一度は、新鮮なぶどうを味わってください
※本日は、お買得価格でご提供させていただきます
※この機会に限りご提供いたします。

はこびユン(列車荷物輸送)

2024年7月から9月に実施された長野県とJR東日本長野支社による「夏の信州観光キャンペーン」にあわせ、駅とペリエを一括で運営する当社が、長野県の魅力発信・地産品販売などを行い、地域活性化を促進しました。長野の農園で収穫した「朝採れブドウ」を北陸新幹線で輸送し、期間・数量限定で販売しました。JR東日本と連携して、お客さまがワクワクするような商品や体験を提供し続けます。

ターミナル駅からの情報発信

千葉県誕生150周年記念事業

千葉県誕生150周年(2023年)を契機に県内各地で記念事業が実施され、ペリエとしても様々な取り組みを行ってまいりました。2024年度はフィナーレイベントの広報を目的とした千葉駅構内大型バナー広告掲出および広報事業について、千葉県と共に主催し、実施するとともに、ペリエでの連携PRイベント(ワークショップ、ライブペインティング)などを開催しました。



地域と共に創る まちづくり・暮らしづくり

海浜幕張駅に新たに公園改札および新エリアが誕生！ ≪2025年3月22日開業≫

海浜幕張駅エリアのアイデンティティとなっている幕張海浜公園などの豊かな自然環境にある立地を活かした新開発エリアを、「ペリエ海浜幕張 PARK SIDE(パークサイド)」と名付け、開業しました。「ペリエ海浜幕張」は、既存館の23店舗に加え、「ペリエ海浜幕張PARK SIDE1」は、新改札「公園改札」に直結し、食生活をサポートする地域密着型のスーパーマーケットや、多機能ロッカー「マルチエキュープ」などの新設により、幕張海浜公園側のアクセス・利便性を向上して、地域の暮らしをより豊かに便利にいたします。「ペリエ海浜幕張PARK SIDE2」は、幕張海浜公園に隣接する京葉線高架下に、地域コミュニティ形成と子育て機能を一体化した千葉県初開園となるスポーツ幼児園と千葉県初出店となるフィットネスジムの新設し、地域のウェルネスライフを促進するとともに、幕張海浜公園に更なる賑わいを創出します。

[プレスリリース「ペリエ海浜幕張 PARK SIDE」がオープンします](#)



「ペリエ西千葉 アネックス館」がリニューアル！ ≪2025年3月28日開業≫

‘明るく’ ‘開放的に’ ‘街に開かれた’ 施設へ

ペリエ西千葉アネックスはエントランス空間を広く取り、明るく開放的な環境と共に、店舗には新たな憩いの場とくらしサポート機能を備えました。街に開かれた施設として、心地よい暮らしを愉しむ人々の多様な利用シーンにお応えします。

[プレスリリース「ペリエ西千葉 アネックス館」がリニューアル！ 3月28日開業～装いを新たに、心と体の豊かさを育む施設に生まれ変わります～](#)



スマート健康ステーションの取組み

西千葉エリアのくらしサポート機能として、千葉県で初めてとなる対面診療とオンライン診療を組み合わせたスマート健康ステーション「クリア西千葉駅クリニック」を2025年5月1日に開業しました。駅直結の便利な立地で通勤・通学の合間や土日祝日でも診療を受けることができ、ICTを活用したWEBでの予約や問診、キャッシュレス決済などの提供を通じて、地域の方々のライフスタイルに寄り添った存在となれることを目指しています。

※「スマート健康ステーション」はJR東日本の登録商標です。



特別な体験をお届けしています(ロイヤルカスタマーサービス)



PERIE Mate Program (ペリエメイトプログラム)

ペリエをご利用いただくJRE POINT会員さまのお買いもの方がもっと楽しくなる、ペリエから大切なお客さまへお届けする「PERIE Mate Program」を2021年にスタートしました。ご入会いただいたPERIE Mate 会員さまおよびPERIE Mate ゴールド会員さまにとって、これまでより一層良質な購買体験をご提供できるようにさまざまなサービスを提案しつづけています。

《2024年度実施特典(一例)》



骨格スタイル診断



新春PERIE Mate LOUNGE



イベント参加優待

働きやすいペリエ、働いて楽しいペリエ

ペリエで働くスタッフ限定

お買物券交換サービス

7,500 ポイントで 10,000 円分

※お買物券 2,500円分おトク!

※お買物券 20枚 ペリエお買物券に交換できる!

【日時】 8:15~2:00 am14:00-17:00

【会場】 ストリート0 (ペリエ営業時間内) (対象) PERIE Mate program 2024エントリー画面より従業員証で申し込みください。

秋の 大抽選会

Perie Mate ゴールド画面表示で +1回のチャンス!

気になる景品!一部発表!

『ひゅう商品券』 1万円分	『BEAMSギフトカード』 5,000円分	『サンクセール詰め合わせ』 3,000円分
『KEYUCA 9枚入』	『F100商品券』 500円分	『F200商品券』 100円分
『各種お菓子』		

※抽選は100%当選

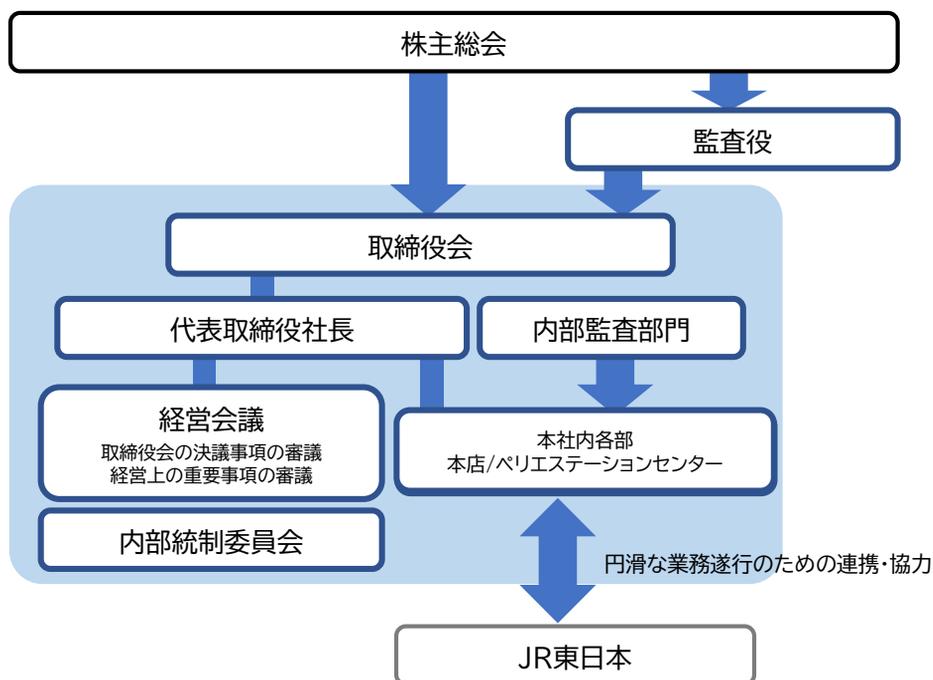
ハズレなし! そのほか景品多数ご用意!

テナントスタッフ向け特典の充実

当商業施設で日々ご尽力いただいているテナントスタッフの皆さま、バックスタッフの皆さま、そして協力会社の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、各種イベントの充実にご力をいただいております。2024年度は猛暑のセール立ち上げのコールドリンク配布、おトくなJRE POINTお買物券交換サービス、秋の繁忙期に合わせたプレゼント大抽選会、1年の感謝を込めた従業員パーティー「ペリフェス」など、年間を通じてモチベーションの向上とコミュニケーション活性に取り組まれました。ペリエとテナントスタッフの絆を深め、ペリエでの働きがいや、ペリエで働いてよかった!と感じていただける商業施設でありつづけます。

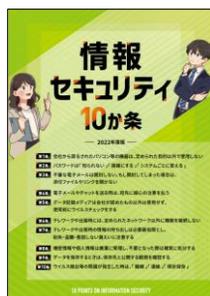


当社は、コンプライアンス、安全・安心の確保、財政上の損失の防止、財務諸表の健全性の確保などに加え、新たな事業分野への発展などの観点も踏まえたリスクマネジメントに取り組むことを目的に内部統制委員会を設置し、継続的な見直し、これに基づく業務改善を常に行い、効率的で働きやすい職場づくりに努めています。



- 原則として年10回の取締役会を開催し、重要な業務執行の決定、監督を行っています
- 取締役会では、社外より取締役および監査役を入れ、幅広い視点から議論を行っています
- 原則として週1回開催する経営会議では、取締役会の決議事項や経営上の重要事項の審議を行うほか、内部統制委員会を設置することにより、ガバナンスの強化を図っています
- 内部監査部門が、本社内各部・本店/パリエステーションセンターを対象として、適法かつ効率的な業務執行を確保するための監査を定期的を実施し、その結果について、経営会議に報告を行い、課題の解決や不正・誤りの防止に努めています
- 「統制状況の監査」を通じて、3ラインモデルによる内部統制の定着・ガバナンスの強化を目指しています
- 監査役は、経営会議や取締役会など重要な会議への出席などを通して、各取締役の業務執行の監査を行っています
- 会計監査については、外部監査法人が監査を行っています

全社員研修・コンプライアンス教育



全社員に対し、JR東日本グループ共通の「コンプライアンスアクションプラン」・「情報セキュリティ10か条」を教材として、毎年、集合教育を実施し、職場におけるハラスメント防止や情報セキュリティの重要性の徹底を図っています。また、当社のWebサイトには、当社内に設置した「公益通報者保護法に関する相談窓口」を掲載し、社員をはじめ、取引先従業員からの相談等に対応しています。

みんなが輝く職場づくり

多様なキャリアプランの選択

当社は、育児両立・キャリア志向の多様化などニーズを踏まえて柔軟かつ多様な働き方を可能とする制度を拡充しています。産休・育児休暇はもとより、育児をしながらキャリア形成していくためのキャリアサポートや、シニア人材の豊かな知見・経験を活かして将来を見据えたキャリアプランの構築を進めています。

当社の取組みが評価され、2024年4月に「プラチナくるみん」、2025年5月には「プラチナえるぼし」認定を取得いたしました。



※「プラチナくるみん」:くるみん認定を受けた企業が、より高い水準の取組を行い一定の基準を満たした場合、優良な「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の特例認定を受ける証。

※「プラチナえるぼし」:えるぼし認定企業のうち、一般事業主行動計画の目標達成や女性の活躍推進に関する取組の実施状況が特に優良である等の一定の要件を満たした場合に認定される証。



【社員の声】 各施設の維持管理部門に所属し、男性社員が多い部署ですが、先輩方と温かい雰囲気と一緒に業務を行える環境の中、日々、商業施設の成り立ちを学びながら、「安全安心を大事に」という意識を持って、経験を積み重ねています。



【社員の声】 様々な先輩方の実績を参考にしながら、会社独自の休暇制度やフレックス制等を活用することで、自身に合わせた働き方を選択し、子育てをしながら仕事にも継続して携わることができています。

働き方の向上と社員のウェルビーイング

当社では、スポーツやアクティビティ等の部活動やレクリエーションの機会を推奨し、社員同士のコミュニケーションや心身のリフレッシュの場を創出しています。私たちはこれからも、働きやすく、様々な社員一人ひとりの活躍と働きがいやウェルビーイングを高める職場の環境づくりを進めてまいります。



社内コミュニケーションの活性化

部署、役職、世代を問わず多様な交流を目的としたワーケーションを活用しています。社内だけでなく普段とは異なる環境での業務によりチームの結束力を強化し、新しいアイデアの創出や柔軟な働き方の選択を促進しています。また、コミュニケーションを活性化し、立場により異なる視点や経験を共有することで、組織全体の協力と理解を深めています。2025年初には、今後10年を見据えた成長戦略について議論し、100年企業を目指したさらなる事業の成長や、よりよい環境づくりの為の改善点などを話し合いました。

